

31

PDFを閲覧／編集しよう

ここで学ぶこと

- ・PDF
- ・ハイライト
- ・手書き

Microsoft Edgeは、PDFファイルの閲覧機能を備えています。また、かんたんな編集機能も備えており、選択した文字列をハイライトで表示したり、手書きで文字や図形を書き込んだりといったことが行えます。

1 PDFを表示する

解説

PDFの編集

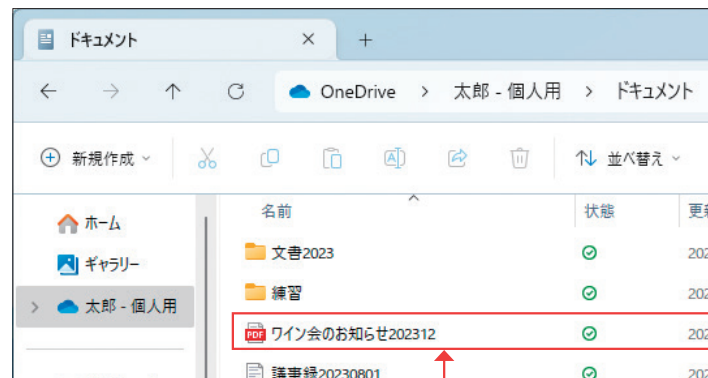
Microsoft Edgeが備えているPDFファイルの編集機能は、右の手順で利用できます。PDFファイルは、パソコンだけでなく、スマートフォンやタブレットなどでも同じように見ることができるファイルの形式です。PDFは、会社などで利用される資料や取り扱い説明書の配布など、文書の配布形式として広く普及しています。

補足

違うアプリが起動した場合

手順③でMicrosoft Edgeではなく、別のアプリでPDFファイルが表示されたときは、パソコンにPDF閲覧用のアプリがインストールされています。Microsoft EdgeでPDFファイルを表示したいときは、PDFファイルを右クリックし、[プログラムから開く]→[Microsoft Edge]の順にクリックします。

- 1 エクスプローラーを起動し、閲覧したいPDFファイルが保存されたフォルダーを表示します。



- 2 閲覧したいPDFファイルをダブルクリックします。

- 3 PDFファイルがMicrosoft Edgeで表示されます。



2 選択した文字をハイライトで表示する

解説

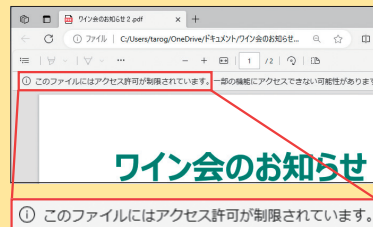
文字をハイライト表示する

ハイライトとは、選択した文字列を指定した背景色で強調表示する機能です。重要な用語などをハイライト表示することで、その用語を目立たせることができます。右の手順では、指定した文字列を緑色の背景色でハイライトする手順を例に解説しています。

補足

編集できないPDFもある

PDFは、作成者が編集可／不可などのアクセス制限(保護)を施せます。閲覧したPDFが保護されている場合、右の手順のような編集は行えません。なお、保護されたPDFを閲覧すると、以下の画面のように一部の機能にアクセスできないことを知らせるバーが表示されます。

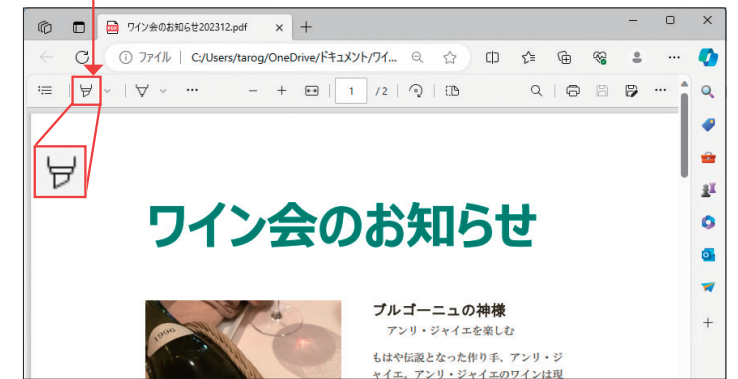


補足

ハイライト表示の解除

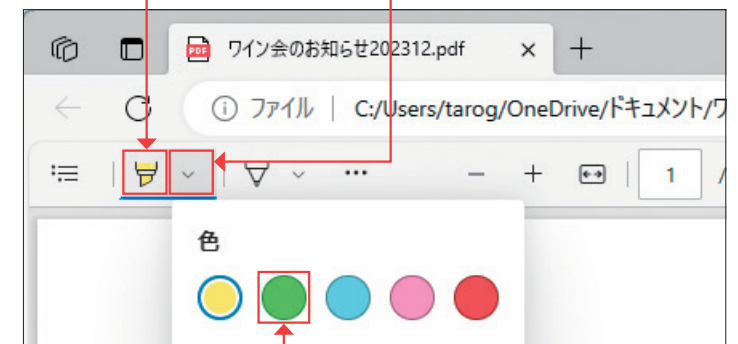
ハイライト表示を解除したいときは、解除したい文字列を右クリックし、[ハイライト]→[なし]の順にクリックします。

- 1 罫をクリックします。



- 2 罫が罫に変わります。

- 3 罫をクリックし、



- 4 ハイライト表示にしたい色(ここでは、●[緑])をクリックします。

- 5 ハイライト表示したい文字列をドラッグして指定すると、



- 6 その範囲がハイライト表示されます。

32

Outlook for Windowsを
起動しよう

ここで学ぶこと

- ・ Outlook for Windows
- ・ 起動
- ・ メール閲覧

Outlook for Windowsは、**メールの閲覧**や**送受信**を行うアプリです。Windows 11にあらかじめインストールされています。Outlook.comで取得したメールアカウントやプロバイダーメールのアカウントの管理を行えます。

1 Outlook for Windowsを起動する

解説

Outlook for Windowsの活用

Outlook for Windowsは、長らく利用されてきた「メール」/「カレンダー」アプリに変わるアプリとして提供がはじまり、2024年以降には既定のアプリになる予定です。本稿執筆時点(2023年11月)では画面右上に[新しいOutlook]新しいOutlook が表示され、これをクリックすることで「メール」アプリに戻せる場合もあります。なお、手順2で「Outlook (new)」がピン留めされていない場合は、[すべてのアプリ]をクリックし、[Outlook (new)]をクリックしてください。

注意

すでにメールを利用している場合は

Windows 11のOutlook for Windows以外のアプリでメールを利用している場合やGmail/Yahoo!メールなどのWebメールをすでに利用している場合は、利用環境を無理に変更する必要はありません。メールの利用環境を変更したいときのみ、本書を参考に設定を行ってください。



1 をクリックし、

2 [Outlook (new)] をクリックします。

3 Outlook for Windowsが起動します。



2 メールを閲覧する

補足

画面デザインが異なる

Outlook for Windowsは、ウィンドウの幅の広さによって画面デザインが一部異なります。本書の画面と異なるときは、ウィンドウの幅を広げたり、狭くしたりしてみてください。

補足

スレッドを展開する

Outlook for Windowsには、件名などを基準に関連すると思われるメールをまとめて表示するスレッド表示という機能を備えています。スレッドにまとめられているメールには が付けられており、これをクリックすることでスレッドを展開できます。

補足

よろこ画面が表示される

Outlook for Windowsをはじめて起動したときは、「新しいOutlookへようこそ」という画面が表示される場合があります。この画面が表示されたときは、Outlook for Windowsで利用するメールアカウントの初期設定を行います。Microsoft アカウントで利用しているメールアドレスの設定を行うときは、お勧めのアカウントにそのメールアドレスが表示されていることを確認し、[続行]をクリックして画面の指示に従って初期設定を行います。ほかのメールアドレスを設定したいときは、そのメールアドレスを入力し、[続行]をクリックして画面の指示に従って初期設定を行います。

1 読みたいメールをクリックすると、



2 メールの内容が表示されます。



39

iPhoneと写真や音楽をやり取りしよう

ここで学ぶこと

- ・「フォト」アプリ
- ・iPhone/iCloud
- ・iTunes

「フォト」アプリを利用すると、iPhoneで撮影した写真やビデオをパソコンで編集できます。また、**iCloud**や**iTunes**などのアプリをインストールすると、写真やビデオ、音楽ファイルを**iPhone**とパソコンとの間でより便利に利用できます。

1 iPhone の写真をパソコンに転送する

解説

iPhone から写真やビデオを取り込む

iPhoneで撮影した写真やビデオをパソコンで楽しむには、USBケーブルを用いてiPhoneからパソコンに写真/ビデオを転送する方法と、Appleが無償提供しているiCloudアプリをインストールして写真/ビデオをiCloud経由でパソコンと共有する方法があります。ここでは、特別なアプリをインストールすることなく利用できる前者のUSBケーブルを用いた転送方法を説明します。

補足

通知バナーについて

手順2の通知バナーや手順3の画面が表示されるのは、iPhoneで撮影した写真やビデオをはじめパソコンに転送するときのみです。次回からこれらの画面は表示されません。

- 1 iPhoneのロックを解除して、USBケーブルでパソコンと接続します。



- 2 通知バナーが表示されたら、クリックします。

- 3 下に「フォト」と書かれている「写真と動画のインポート」をクリックします。



補足

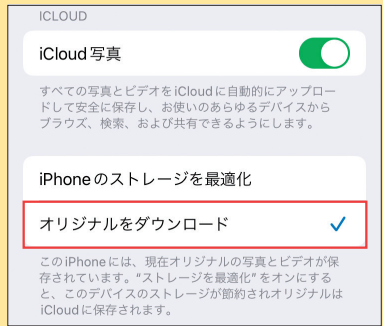
「フォト」アプリで写真を取り込む

iPhoneからUSBケーブルで写真/ビデオをパソコンに取り込むときは、「フォト」アプリを利用します。この方法で写真/ビデオを取り込むときは、iPhoneに写真/ビデオへのアクセス許可を求める画面が表示されたり、パスワードの入力を求められたりする場合があります。アクセス許可を求める画面が表示されたら、必ず「許可」をタップしてください。

補足

「問題が発生しました」画面

手順3のあとに「問題が発生しました」と表示された場合は、iPhone内の写真やビデオへのアクセスが承認されていません。この画面が表示されたときは、右の手順に従って操作を行ってください。なお、この画面が何度も表示され手順7に進まないときは、iPhoneの「設定」画面を表示し、[写真]→[オリジナルをダウンロード]とタップして手順1から作業をやり直してみてください。



- 4 「フォト」アプリが起動し「問題が発生しました」と表示されたときは、

- 5 iPhoneのロックを解除して[許可]をタップします。

- 6 [再試行]をクリックします。



- 7 iPhone内にある写真の情報が読み込まれて表示されます。



40

スマートフォンと写真や音楽をやり取りしよう

ここで学ぶこと

- ・「フォト」アプリ
- ・Android
- ・エクスプローラー

Androidスマートフォンで撮影した写真やビデオは、「**フォト**」アプリを利用してパソコンに取り込めます。また、パソコン内の音楽ファイルをAndroidスマートフォンに転送するときは、「**エクスプローラー**」を利用します。

1 Androidスマートフォンから写真をパソコンに転送する

解説

写真やビデオをパソコンに取り込む

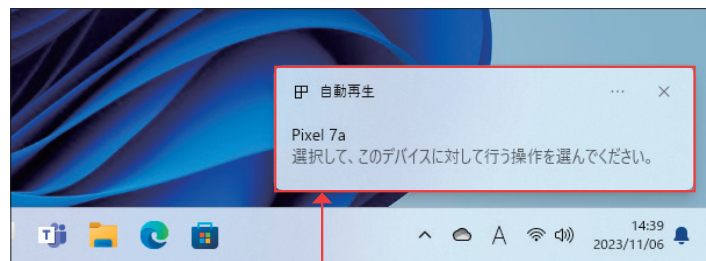
Androidスマートフォンで撮影した写真やビデオは、「フォト」アプリを利用することでパソコンに取り込めます。ここでは、GoogleのPixel 7a (OSはAndroid 14) を例に、Androidスマートフォンから写真やビデオを取り込む方法を説明します。

補足

通知バナーについて

通知バナーが表示されるのは、Androidスマートフォンで撮影した写真やビデオをはじめてパソコンに転送するときのみです。次回からは通知バナーは表示されません。

1 AndroidスマートフォンとパソコンをUSBケーブルで接続します。



2 通知バナーが表示されたら、クリックします。

3 下に「フォト」と書かれている[写真と動画のインポート]をクリックします。



補足

Androidスマートフォンでの操作

Androidスマートフォンで撮影した写真やビデオをパソコンに転送するには、Androidスマートフォンとパソコンを接続したときのUSBの動作モードを「充電」から「ファイル転送／Android Auto」に変更する必要があります。右の手順5以降の操作は、Pixel 7aを例にこの手順を説明しています。

補足

ロックを解除したら画面が表示された

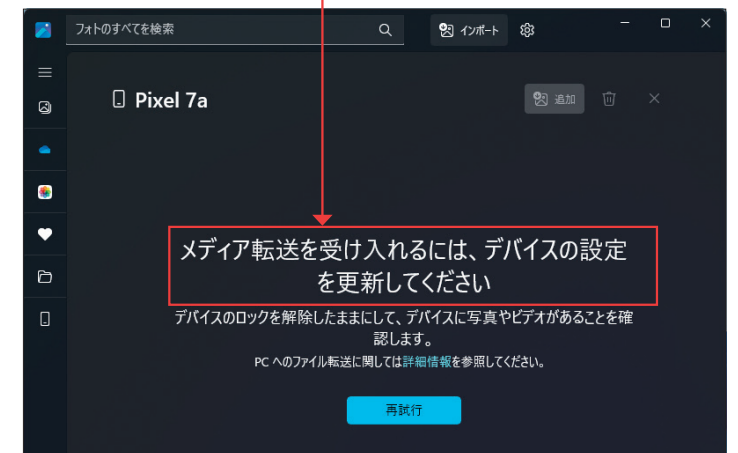
手順5のスマートフォンのロックを解除したあとに「アクセスを許可しますか？」の画面が表示されたときは、[許可]をタップします。

応用技

ほかのAndroidスマートフォンの場合

ほかのAndroidスマートフォンを利用している場合やAndroidのバージョンが異なる場合など、右の手順と操作画面が異なる場合は、使用しているAndroidスマートフォンの取り扱い説明書を参考にUSBの動作モードを「ファイル転送／Android Auto」や「ファイル転送」に変更してください。

4 「フォト」アプリが起動し「デバイスの設定を更新してください」と表示されます。

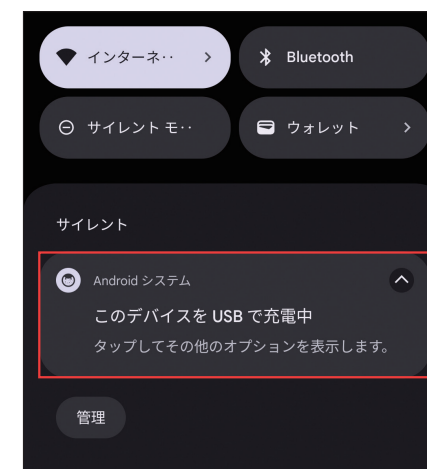


5 Androidスマートフォンのロックを解除し、



6 上から下にスワイプして「通知パネル」を表示します。

7 [このデバイスをUSBで充電中]をタップします。



8 画面下にメッセージが追加されるので、[このデバイスをUSBで充電中]を再度タップします。

41

Androidスマートフォンと連携しよう

ここで学ぶこと

- ・スマートフォン連携
- ・リンク
- ・Androidスマートフォン

「スマートフォン連携」アプリを利用すると、Androidスマートフォンに届いたSMSのメッセージをパソコンで送受信したり、通話をしたりできます。この機能を利用するには、Androidスマートフォンとパソコンをリンクします。

1 Androidスマートフォン/タブレットとのリンクの準備を行う

解説

「スマートフォン連携」アプリを利用するには

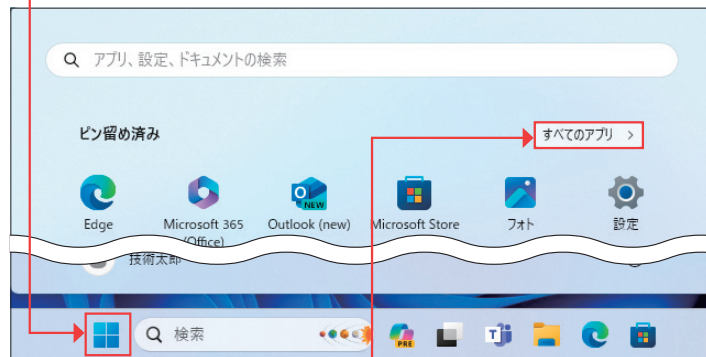
Androidスマートフォンで「スマートフォン連携」アプリを利用するためには、Microsoft アカウントが必要です。また、Androidスマートフォンとパソコンをリンクする必要があります。リンクは、右の手順で「スマートフォン連携」アプリでパソコンのモニターに「QRコード」を表示し、146ページからの手順でそのQRコードをAndroidスマートフォンで読み込むことで行います。

ヒント

Windowsの初期設定でも設定できる

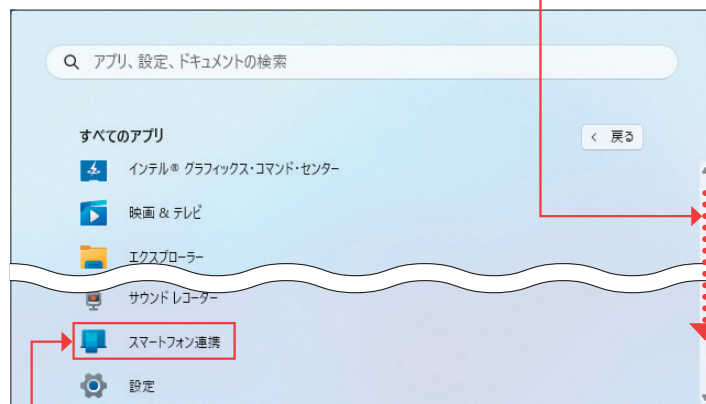
Androidスマートフォンとパソコンのリンクは、Windows 11の初期設定時(292ページ参照)に行うこともできます。Windows 11の初期設定時にリンクを行う場合は、146ページからの手順を参考にAndroidスマートフォンで作業を行ってください。

1 [スタートメニュー]をクリックしてスタートメニューを表示し、



2 [すべてのアプリ]をクリックします。

3 画面をスクロールして、



4 [スマートフォン連携]をクリックします。

補足

iPhoneの場合

iPhoneとパソコンをリンクするときの手順については、154ページで紹介しています。手順6で[iPhone]をクリックし、154ページからの手順を参考にリンク作業を行ってください。

補足

連携済みの機器がある場合

2台目以降の機器を連携させるときは、右の手順5の画面は表示されません。手順5の画面を表示したいときは、[設定]→[自分のデバイス]→[新しいデバイスのリンク]の順にクリックします。なお、「スマートフォン連携」アプリで連携できるのは、「既定」に設定された1台の機器のみです。現状では2台の機器を連携しても2台同時に利用できるわけではありません。

応用技 「設定」から「スマートフォン連携」アプリを開く

「設定」を開き、[Bluetoothとデバイス]→[スマートフォン連携]の順にクリックすることでも、「スマートフォン連携」アプリは開きます。[スマートフォン連携]を[オン]にするすると、上の手順5の画面が開きます。また、リンク済みの場合は、[スマートフォン連携を開く]をクリックすると、「スマートフォン連携」アプリが開きます。

5 「スマートフォン連携」が開きます。



6 リンクしたいデバイス(ここでは[Android])をクリックします。

7 QRコードが表示されます。パソコンはこのままの状態にしておき、146ページを参考にAndroidスマートフォンでリンク設定を開始してください。



43 iPhoneと連携しよう

ここで学ぶこと

- ・スマートフォン連携
- ・リンク
- ・iPhone

「スマートフォン連携」アプリを利用すると、iPhoneに届いたSMSのメッセージをパソコンで送受信したり、通話をしたりできます。この機能を利用するには、iPhoneとパソコンをリンクします。

1 iPhoneとのリンクの準備を行う

解説

「スマートフォン連携」アプリを利用するには

「スマートフォン連携」アプリの機能をiPhoneで利用するには、iPhoneとパソコンをペアリング(リンク)する必要があります。ペアリングは、右の手順でパソコンのモニターに「QRコード」を表示し、そのQRコードをiPhoneで読み込むことで行います。

補足

連携済みスマートフォンがある場合

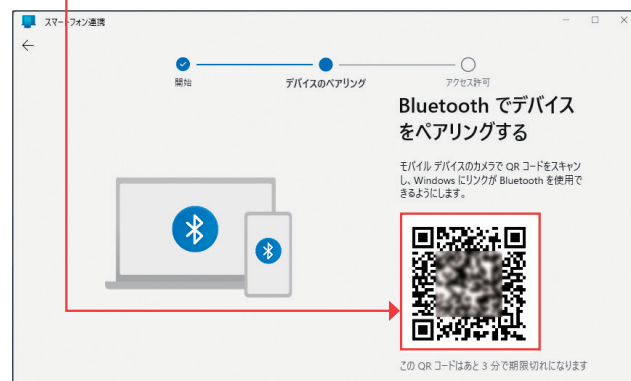
2台目以降の機器を連携させるときは、右の手順1の画面は表示されません。手順1の画面を表示したいときは、[設定] → [自分のデバイス] → [新しいデバイスのリンク]の順にクリックします。なお、「スマートフォン連携」アプリで連携できるのは、「既定」に設定された1台のみです。現状では2台の機器を連携しても2台同時に利用できるわけではありません。

- 1 144ページの手順を参考に「スマートフォン連携」アプリを開き、



- 2 [iPhone] をクリックします。

- 3 QRコードが表示されます。パソコンはこのままの状態にしておき、155ページからの手順を参考にiPhoneで同期設定を開始してください。



2 iPhoneとパソコンをペアリングする

解説

iPhoneとパソコンをペアリングする

iPhoneとパソコンのペアリングには、Bluetoothを利用します。Bluetoothを備えていないパソコンでは「スマートフォン連携」アプリの機能を利用できません。iPhoneとパソコンのペアリングは、右の手順で行います。



- 1 iPhoneの「カメラ」アプリを起動し、
- 2 パソコンのモニターに表示されたQRコードを読み取ります。
- 3 「カメラ」アプリに表示されたリンクをタップします。



- 4 [開く] をタップします。



- 5 「デバイスのペアリング」画面が表示されます。

- 6 [続行] をタップします。

補足

QRコードの制限時間

154ページの手順3で表示したQRコードには、「3分間」の制限時間があります。iPhoneとパソコンのペアリングは、QRコードの制限時間内に行えないと失敗する場合がありますので注意してください。

Section

50

オリジナルのビデオを作成しよう

ここで学ぶこと

- ・ Clipchamp
- ・ ビデオの自動作成
- ・ AI

パソコンに取り込んだ写真やビデオから**オリジナルのビデオを作成**したいときは、「Microsoft Clipchamp」アプリを利用します。同アプリは、AIを利用したビデオの自動作成機能を備え、かんたんにビデオを作成できます。

1 AIでビデオを自動作成する

解説

ビデオの自動作成

「Microsoft Clipchamp」アプリは、AIによるオリジナルビデオの作成機能を備えたビデオ編集アプリです。写真やビデオを登録するだけで自動的にオリジナルのビデオを作成できます。なお、「Microsoft Clipchamp」アプリをはじめて起動したときは、名前や使用目的などをたずねる画面が表示される場合があります。この画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

補足

Premiumプランも用意

「Microsoft Clipchamp」アプリは、ほとんどの機能を無料で利用できますが、月額1,374円(税込み)のPremiumプランにアップグレードすると、4Kビデオの編集機能などいくつかの付加機能を利用できます。Premiumプランは、「アップグレード」をクリックすることで申し込みます。



2 「Microsoft Clipchamp」をクリックします。

3 「Clipchamp」が起動します。左の「補足」参照



補足

ドラッグ&ドロップでファイルを追加する

ビデオの作成に用いる写真やビデオなどのファイルは、エクスプローラーからファイルを手順6の場所にドラッグ&ドロップすることでも追加できます。

補足

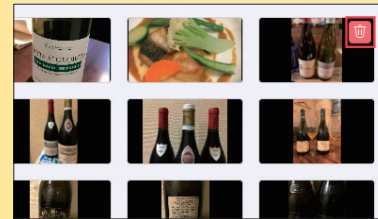
追加できるファイルの形式

右の手順では写真／ビデオファイルを追加していますが、音楽ファイルを追加することもできます。追加した音楽ファイルは、BGMに利用できます(181ページの「応用技」参照)。

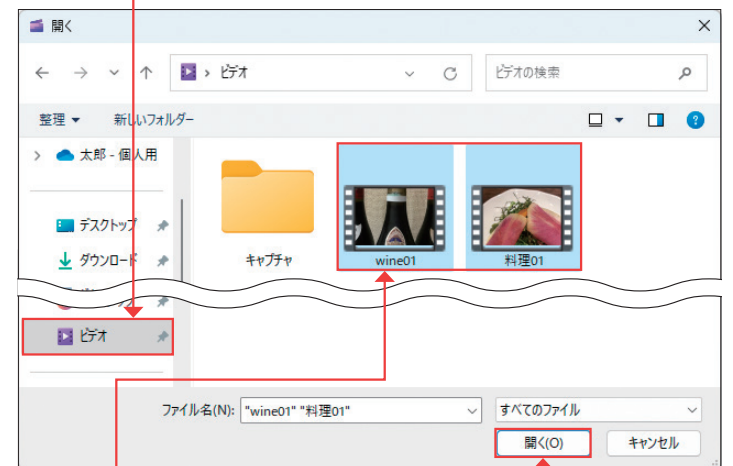
ヒント

追加したファイルを削除する

間違っって不要なファイルを追加したときは、削除したいファイルの上にマウスポインターを移動します。[X]が表示されるのでクリックすると、そのファイルを削除できます。



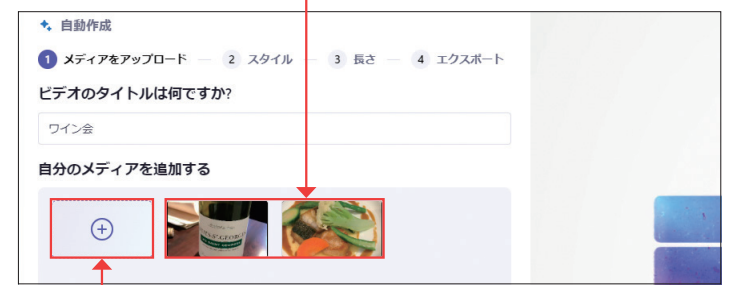
7 追加したいビデオまたは写真が保存されたフォルダー（ここでは「ビデオ」）を開き、



8 追加したいファイルを選択し、

9 「[開く]」をクリックします。

10 写真またはビデオが追加されます。



11 さらに写真またはビデオを追加したいときは+をクリックして手順7～9の作業を繰り返します。

52

Copilotを使ってみよう

ここで学ぶこと

- ・ Copilot in Windows
- ・ AI アシスタント
- ・ AI チャット

Windows 11は、「Copilot in Windows」と呼ばれるAIアシスタント機能を備えています。Copilotは、自然な言葉で依頼するだけでWindows 11の操作を手助けしたり、**情報検索、文章の生成や要約などの作業を手助け**したりしてくれます。

1 Copilot in Windowsのサイドバーを開く

解説

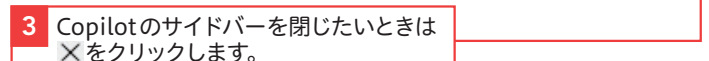
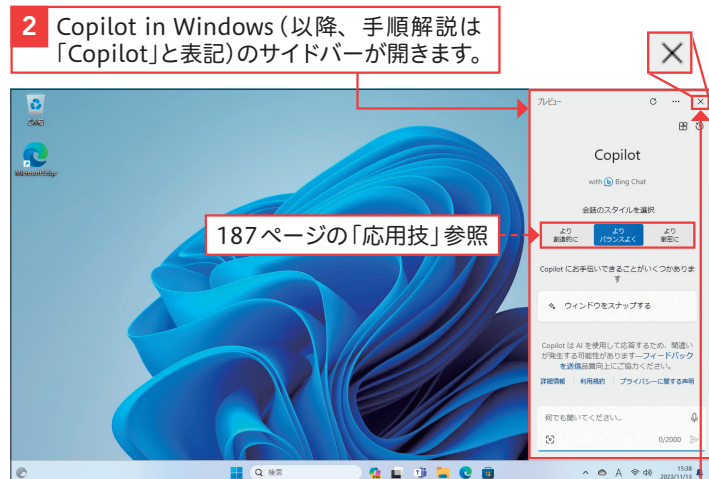
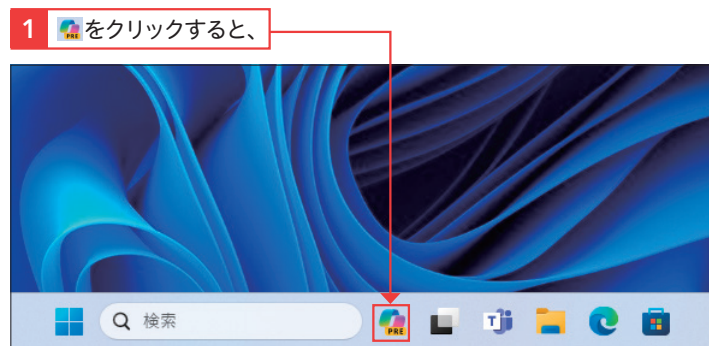
Copilot in Windowsとは

Copilot(コパイロット) in Windowsは、AIを活用した支援(アシスタント)機能です。[C]を押しながら[Enter]を押すことも利用できます。なお、Microsoft アカウントまたはそれに準ずるアカウントでサインインしていない場合、Cのアイコンは非表示となり、この機能は利用できません。

補足

Copilotブランドのサービスについて

マイクロソフトではCopilot in Windowsのほかに「Copilot(旧称、Copilot with Bing Chat/Bing Chat)」や「Copilot for Microsoft 365(旧称、Microsoft 365 Copilot)」なども提供しています。Copilotは、マイクロソフトの検索サービス「Bing」のAIアシスタント機能、Copilot for Microsoft 365は、本稿執筆時点(2023年11月)では企業向けのみで提供されているMicrosoft 365アプリと連携して動作する有償のAIアシスタント機能です。



2 知りたいことを質問する

解説

Copilot in Windowsで情報を調べる

Copilot in Windowsでは、チャットウィンドウに「○○について教えて」や「○○って何」などのように入力することでさまざまな情報を調べることができます。なお、文章を改行するときは、[Shift]を押しながら[Enter]を押してください。[Enter]のみを押すと、入力した文章が送信されます。

応用技

会話のスタイルを選択する

Copilot in Windowsでは、3種類の回答のスタイルが用意されており、選択したスタイルによって実際の回答に違いが出てきます。「より創造的に」は、本来の回答に加え、付加的な情報なども付け加えた多くの情報を回答するスタイルです。「より厳密に」は、簡潔で単刀直入な回答をするスタイルで、「よりバランスよく」は、「より創造的に」と「より厳密に」の中間に位置する回答を行うスタイルです。なお、Copilot in Windowsによる回答の内容が正しいとは限らないので、留意のうえ利用してください。

補足

回答の生成を中止する

質問を間違えたときなど質問をはじめからやり直したいときは、手順4の画面で「応答を停止して」をクリックすると、回答の生成が中止できます。なお、「応答を停止して」をクリックしたあとに、Copilot in Windowsの動作が停止してしまったときは、Cををクリックしてください。

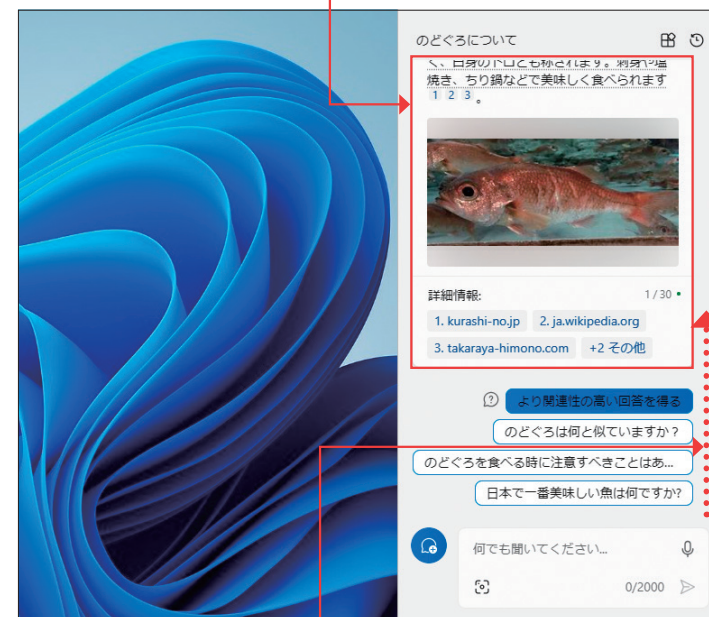
1 チャットウィンドウをクリックし、



4 回答の準備が始まります。



5 しばらくすると、回答が表示されます。



6 回答の先頭部分が読めないときは、画面をスクロールして回答の先頭を表示します。

56

Microsoft EdgeでAIアシスタントを使おう

ここで学ぶこと



- ・ Microsoft Edge
- ・ 文章／画像の生成
- ・ コンテンツの要約

Microsoft Edgeには、検索サービス「Bing」で提供されている「Copilot (旧称、Copilot with Bing Chat / Bing Chat)」を利用する機能が統合されています。この機能を利用すると、**Microsoft Edge**で**文書／画像の生成**などを行えます。

1 Microsoft EdgeでCopilotを利用する


解説

[Copilot] ペインについて

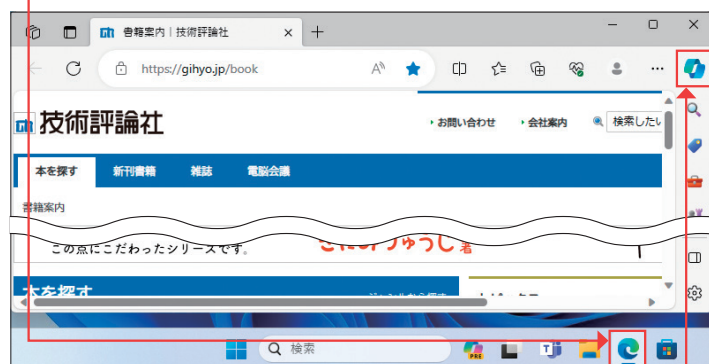
Microsoft Edgeはをクリックすると、[Copilot] ペインが開きます。[Copilot] ペインでは、をクリックして表示される Copilot in Windows のサイドバーとほぼ同等の AI アシスタント機能を利用できます。Copilot in Windows との違いは、パソコンにインストールされているアプリの起動や Windows の設定変更などの機能を [Copilot] ペインでは利用できないことです。

補足

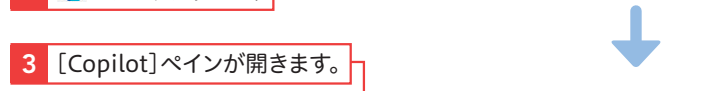
BingのAIアシスタントを利用する

検索サイト「Bing」の AI アシスタント機能は、Web ブラウザーで Bing のトップページ (<https://www.bing.com>) を開き、[チャット] をクリックすることでも利用できます。また、Microsoft アカウントで Windows 11 にサインインしている場合は、タスクバーの検索ボックスをクリックしてをクリックすると Bing のチャットページが Microsoft Edge で開けます。

1 をクリックし、Microsoft Edge を起動しておきます。





2 をクリックすると、



3 [Copilot] ペインが開きます。




4 [Copilot] ペインを閉じたいときは  をクリックするか、再度  をクリックします。

2 Microsoft Edgeで知りたいことを質問する







解説

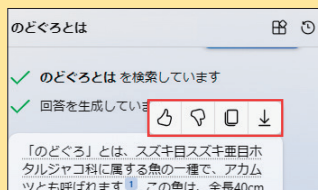
[Copilot] ペインで情報を調べる

Microsoft Edge の [Copilot] ペインの使い方は、Copilot in Windows と同じです (187 ページ参照)。情報を調べたいときは、チャットウィンドウに「○○について教えて」や「○○って何」などように調べたい事柄を入力します。また、 をクリックすることで音声入力を行うこともできます (189 ページ参照)。

応用技



回答文をコピー／エクスポートする

[Copilot] ペインに表示された回答内にマウスポインターを移動させると、    が表示されます。 をクリックすると回答の文章などをコピーできます。また、 をクリックすると、回答文をテキストファイルにしてダウンロードできます。




補足

質問および回答をクリアする

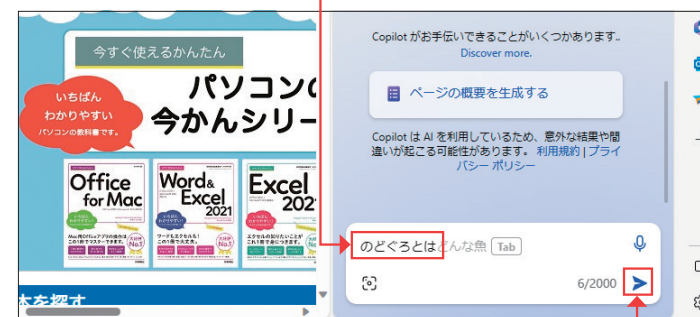
 をクリックすると、質問および回答をクリアして新しいトピックをはじめることができます。 が表示されていないときは、[Copilot] ペインの何も表示されていない部分をクリックします。

1 Microsoft Edge を起動し、

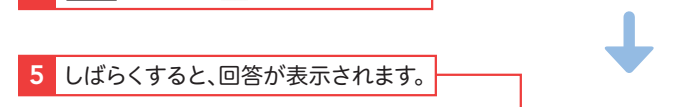
2  をクリックして [Copilot] ペインを開きます。



3 チャットウィンドウに質問 (ここでは [のどぐろとは]) を入力し、



4  を押すか、 をクリックします。



5 しばらくすると、回答が表示されます。



63

Microsoft Teamsを
起動してみよう

ここで学ぶこと

- ・ Microsoft Teams
- ・ ミニ Teams ウィンドウ
- ・ 完全版

Microsoft Teams を利用すると、文字による**会話(チャット)**や**ビデオ通話/会議**を友達や家族と楽しめます。1対1の会話や通話だけでなく、複数人で行う**グループチャット**や**グループ通話/会議**を楽しむこともできます。

1 Microsoft Teams(無料版)の初期設定を行う

解説

Microsoft Teamsの利用

Windows 11には、コラボレーションツール「Microsoft Teams(無料版)(以下、Microsoft Teamsと表記)」が備わっています。Microsoft Teamsを利用すると、文字による会話(チャット)やビデオ通話/会議などが行えます。Microsoft Teamsには、目的の操作をすばやく行える簡易画面の「ミニ Teams ウィンドウ」とフル機能を利用できる「完全版」や「メインアプリ」と呼ばれる画面が用意されています。

補足

別アカウントで利用する

右の手順2の画面は、はじめて Microsoft Teams を起動したときのみ表示されます。またこの画面で「別のアカウントを使用」をクリックすると、「アカウントを選ぶ」画面が表示され、続けて「別のアカウントを使用」をクリックすると、任意の Microsoft アカウントで Microsoft Teams を利用できます。



補足

ミニ Teams ウィンドウと
完全版について

Microsoft Teamsの「ミニ Teams ウィンドウ」と完全版(メインアプリ)は、別々に動作するように設計されています。このため、ミニ Teams ウィンドウから完全版(メインアプリ)を開いてもミニ Teams ウィンドウの画面が閉じることはありません。

補足

連絡先の同期

手順4の画面が表示された場合は、▶をクリックして、次の画面で「連絡先の同期」をクリックすると、Teams モバイル アプリを利用して iPhone / Android スマートフォンなどの連絡先を同期したり、Gmailの連絡先を同期したりできます。

応用技

Android スマホとリンクする

Android スマートフォンに届く SMS メッセージを Microsoft Teams のチャット機能で受信したいときは、「Teams での SMS メッセージ」の画面で「スマートフォンをリンクさせる」をクリックするか、☰→「電話のリンク」とクリックして表示される QR コードから設定を行ってください。「Teams での SMS メッセージ」という画面は、はじめて Microsoft Teams を利用するときに表示されるほか、「チャット」をクリックすることでも表示されます。



6 Microsoft Teamsの完全版(メインアプリ)が開きます。



7 Xをクリックすると、Microsoft Teamsの完全版が終了します。